

検証・課題分析等の全体概要

【目的】

- ・ BIM活用による迅速な情報共有とコミュニケーションの円滑化による生産性向上
- ・ 維持管理を見据えた設計BIMと維持管理BIMの連携

【実施概要】

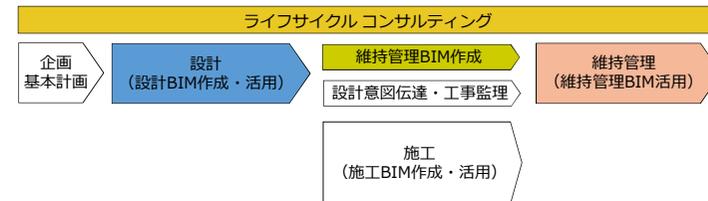
- ・ 施主の豊富な維持管理業務実績を活かし設計BIMと維持管理BIMを連携するための手法・課題を分析する。
- ・ 維持管理BIMから維持管理業務（ソフトウェア等）にデータ移行するための手法を検討する。
- ・ 設計BIMを用いた早期合意形成・意思決定の円滑化手法の分析

検証の対象

標準ワークフローのパターン：②

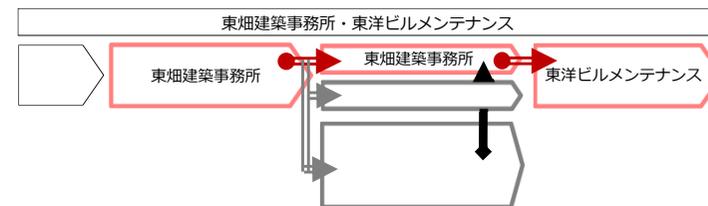
【業務内容】

※着色部分が検証対象



【データ受渡】

※着色部分が検証対象
※記載文字は実施主体を示す



検証する定量的な効果とその目標

- ・ 設計者と施主間の早期合意形成による設計業務効率化
業務時間（打合せ時間等）削減率 30%
- ・ BIMからのデータ受渡しによる重複入力作業効率化
現場訪問・データ作成時間削減率 50%

プロジェクト概要

プロジェクト区分：新築
検証区分：これからBIMを活用

用途：研修所・寮
階数：地上4階
延床面積：約3,000㎡
構造種別：S造・RC造

分析する課題

- ・ 設計BIMを活用した維持管理BIMの作成業務における、維持管理段階で必要となる情報の特定や入力ルールの策定
- ・ 維持管理業務における維持管理BIMの活用方法
- ・ 維持管理計画策定のために必要な維持管理BIMデータの移行方法

応募者の概要

代表応募者：株式会社東畑建築事務所
共同応募者：東洋ビルメンテナンス株式会社
提案者の役割：発注者・設計者・維持管理者

令和2年度

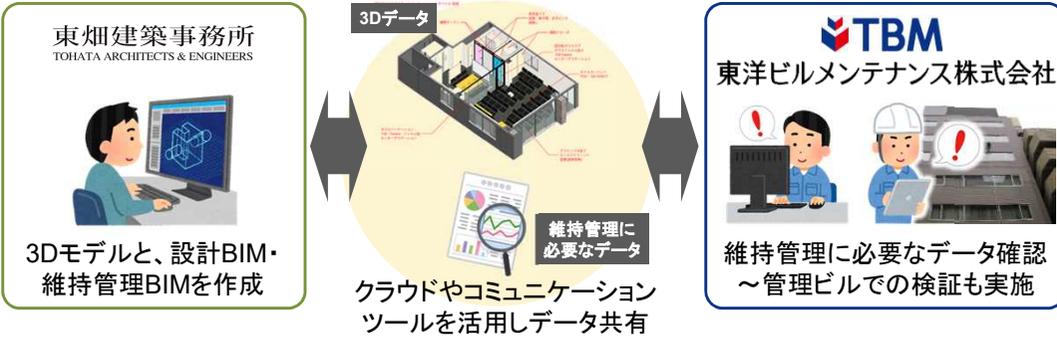
建築BIM推進会議連携事業

プロジェクトにおけるBIMの活用の目的と手法

発注者が維持管理事業者であることを活かし、設計段階から維持管理に有効なデータ管理を行い、維持管理を含めて、一貫したBIM利用の効果検証を実施。

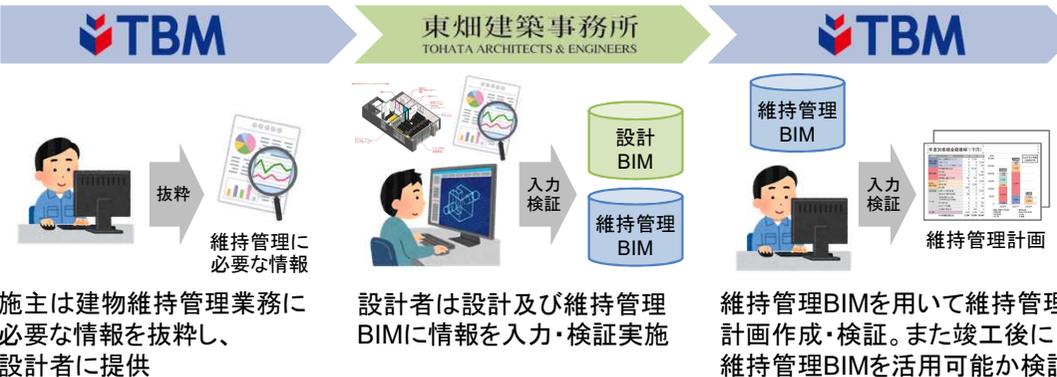
1 迅速な情報共有とコミュニケーションの円滑化による生産性向上

- 設計段階において、BIMを用いて3Dモデルなどを活用し、情報を視覚化することにより、早期合意形成・意思決定の円滑化を図る
- クラウドやコミュニケーションツールを活用し、データの受け渡しを行うことにより、重複入力作業を削減・業務効率化を図る



2 維持管理を見据えた設計BIMと維持管理BIMの連携

- 設計段階から維持管理BIMと維持管理計画策定に必要なデータを調査し、BIMデータの綿密な共有を行う
- 施主は維持管理に必要な情報を設計者側にアウトプット、設計者はBIMに入力し再度フィードバックする



プロジェクトを経て目指すもの

設計段階から維持管理を意識したデータ連携を行うことにより、維持管理業務で活用出来る「維持管理BIM」を作成し、その活用方法を確立する。

建物の維持管理における生産性革命

